

# ジェネラリズム看護論 講義の様子

(平成 29 年度)

○平成 29 年 6 月 29 日 (木) 『地方に暮らす人々の健康問題とニーズ』

看護学、社会学、理学療法学、作業療法学、社会福祉学などを基盤とする専門家を招き、「生活をみるとは」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

1つの症例に対し、それぞれの専門職が関わっていく視点の類似と相違についてご講義いただきました。ディスカッションでは、学生からの意見や質問に対し、他職種の様々な視点からご意見をいただき、患者様がどのように生活していきたいかという本人の意思を尊重することを第一とし、その実現に向けて多職種が連携し看護や介助を考えなければならないことなどをご教授いただきました。



看護・社会学の立場から



社会福祉学・ソーシャルワーカー  
の立場から



リハビリテーション学・ケア  
マネジメントの立場から

## パネルディスカッションの様子



○平成 29 年 11 月 16 日『看護に期待されているジェネラリストとしての活躍の場とニーズ』

「外来や地方の小規模病院や診療所で求められる看護活動の実際」をテーマに、現場でご活躍されているジェネラリストナース・看護管理者の看護師をお迎えし、小規模病院等における慢性期看護の現状や患者様の『その人らしく・・・』を大切にしたい看護師としての役割やケアなどについてご講義いただきました。学生からも沢山の意見や質問があり、現場のナースだからこそお話いただける看護の現状をお聞きすることができ、とても貴重なディスカッションとなりました。



ディスカッションの様子

